



国際ロータリー  
ロータリー財団  
2014-15年度年次報告

リーダーのネットワークへ | アイデアを広げよう | 行動しよう  
[www.rotary.org/ja/give](http://www.rotary.org/ja/give)





6月にサンパウロ（ブラジル）で開かれたロータリー平和シンポジウムに集うロータリアンとロータリー平和フェロー。ロータリアンからの多大なご支援により、これまでの10年間に900人以上のフェローが平和構築のキャリアを目指してロータリー平和センターで学びました。

特記のない限り、写真はすべて国際ロータリーの提供によるものです。



# 国際ロータリー ロータリー財団

2014-15年度年次報告

# ロータリーの奉仕の力を さらに広げる

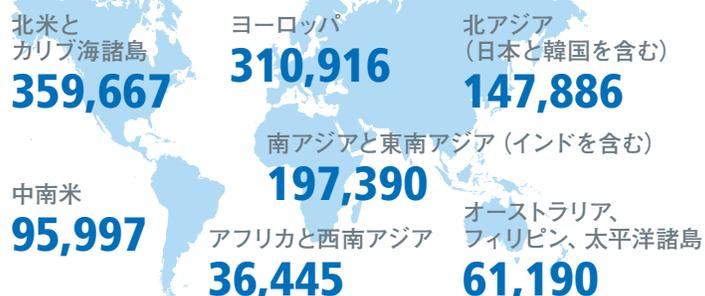
ロータリーでは、120万人以上の会員が集い、アイデアを広げ、奉仕活動を通じて地元や世界に変化をもたらしています。

ロータリーの戦略計画は、価値観を行動につなげ、未来のビジョンを描き、世界中の地域社会に末永い変化をもたらすことを目的としています。2014-15年度には、戦略計画の3つの優先項目において、着実な進展が見られました。

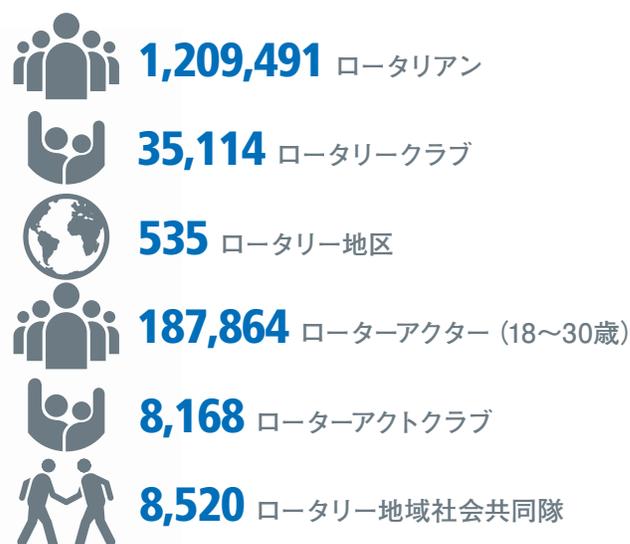
## クラブのサポートと強化

2014年前半に118万人であったロータリーの会員数は、120万人を超えるまでに増加しました。

## 世界の会員数



## ロータリー統計



2015年7月1日現在

画期的な方法で会員を増やし、地域社会で活発に活動しているクラブについては、本報告の「時代とともに変わりゆくロータリークラブ」のセクション、および[www.rotary.org](http://www.rotary.org)の「会員コーナー」をご参照ください。

## 人道的奉仕の重点化と増加

ロータリーは引き続き、ポリオ撲滅を最優先目標として掲げています。1985年にロータリーが「ポリオプラス」プログラムを立ち上げて以来、ポリオの発症数は99.9%減少しました。詳しくは、本報告の「ポリオを撲滅する」のセクション、および[www.endpolio.org/ja](http://www.endpolio.org/ja)をご参照ください。

ロータリーは、持続可能な影響をもたらすために地元や世界で活動しています。また、将来を担う青少年や若者への支援に力を注ぐことにより、後世への影響を残していません。詳しくは、本報告の「若者を応援し 若い職業人に活躍の場を」のセクション、および[www.rotary.org](http://www.rotary.org)をご参照ください。

多くのロータリアンが、ロータリーの補助金を活用してプロジェクトを実施し、6つの重点分野に力を注ぐことによって、世界各地で真の変化を生み出しています。

## ロータリーの補助金

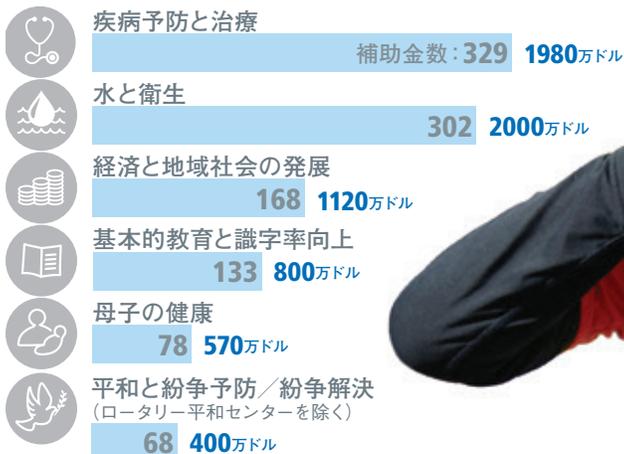
487件の地区補助金

**2520**万米ドル

1078件のグローバル補助金

**6870**万米ドル

**24%** 前年度から上昇



ロータリー補助金に関する詳細は、[www.rotary.org](http://www.rotary.org)をご参照ください。

## 公共イメージと認知度の向上

ポリオ撲滅におけるロータリーの貢献は、さらに広く多くの人びとに認識されるようになってきました。グローバルメディアによる報道数は数百件に上っており (タイム誌、ニューヨークタイムズ紙、英BBC、ロイター、AP通信社、フランス通信社、NPR、ガーディアン紙、グローブ・アンド・メール紙、アルジャジーラ、フォーブス、ハフィントンポストなど)、ロータリーとEnd Polio Nowのソーシャルメディアへの反応も前年度より33%増えました。

ロータリーはさらに、中東と北アフリカでの世界経済フォーラム、世界水サミット、中南米での世界経済フォーラム、第7回米州首脳会議など、他のリーダーたちとともにハイレベルのグローバル会議にも出席しました。国連経済社会理事会およびユネスコで最も高い諮問資格 (NGOに対して与えられる資格) を与えられているロータリーは、欧州連合、アフリカ連合、米州機構、アラブ諸国連名、英連邦、世界銀行に代表を派遣しています。



# 種まきと収穫の1年

## 会長と管理委員長からのメッセージ

ロバート・ルイス・スティーヴンソンは、次のようにつぶっています。「毎日刈り取った収穫で判断せずに、まいた種で判断しなさい」。2014-15ロータリー年度を振り返ると、まいた種と収穫の両面で素晴らしい1年だったという誇りを覚えます。ロータリーの長年にわたる奉仕の成果を刈り取るとともに、今後何年にも及ぶロータリーの奉仕の種がまかれました。

本年度は、会員増強と財団寄付における成長のおかげで、ロータリーの未来を築く土台固めができました。何千人という新会員を迎え入れ、5月31日現在で47,000人の会員純増となっています（年度末の会員数は2ページをご覧ください）。何百という「ロータリーデー」が成功に終わり、年次基金への寄付額は過去最高を記録、恒久基金も10億ドルの大台に乗りました。切に必要とされる奉仕に、大きなスケールかつ画期的な方法で取り組むロータリーの力は、かつてないほど大きくなっています。

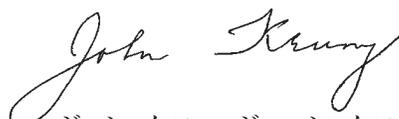
30年前、ロータリーは、ポリオ撲滅という約束とともに種をまきました。以来、ポリオ撲滅の取り組みは、国境と世代を超えたロータリアン同士の絆を強め、他団体との協力を促し、人道的奉仕の新たな道を拓き、友情、協力、平和を築くための、想像もしなかった機会をもたらしました。子供たちの口にワクチンを垂らす活動を粘り強く続け、ポリオのない国を少しずつ増やしてきました。

本報告書が印刷される2015年、ポリオが常在する2カ国での野生型ポリオウイルスによる発症数は、世界でわずかに数十件にとどまっています。ナイジェリアでは1年以上にわたり野生型ポリオウイルスによる発症がゼロとなっており、アフリカ全土のポリオ撲滅の認定が刻々と近づいています。この勢いで活動を続ければ、近い将来、「世界からポリオを撲滅する」という長年の目標がかなう日が来るでしょう。その日、私たちは、「ポリオのない世界」を実現させたのは、ほかでもないロータリアンとロータリー財団であると気づくことになるでしょう。

本年度のテーマは、孔子の「ただ座って暗闇を呪うよりも、ロウソクを灯したほうがいい」という教えに基づいています。大勢のロータリアンが、クラブで、地域社会で、そして財団を通じて、それぞれの方法でロウソクを灯しました。本年度、「ロータリーに輝きを」、そして世界に輝きを与えてくださったロータリアンの皆さまに、心より感謝申し上げます。



ゲイリー C.K. ホァン、コリーナ  
国際ロータリー  
2014-15年度会長



ジョン・ケニー、ジェーン・ケニー  
ロータリー財団  
2014-15年度管理委員長



国際ロータリーのゲイリー C.K. ホアン会長（右）とロータリー財団のジョン・ケニー管理委員長。米国イリノイ州エバンストンのロータリー世界本部で行われた「ロータリー灯火」点灯式にて。この灯火は、インドのポリオフリー認定を祝って2014年12月にチェンナイ（インド）で最初に点灯され、その後、数カ国をめぐる、6月にサンパウロ（ブラジル）で開かれた2015年ロータリー国際大会に到着しました。

# 時代とともに変わりゆく ロータリークラブ

## サンフランシスコのクラブが 会員増強と奉仕活動に精力的に取り組む

米国カリフォルニア州のサンフランシスコ・イブニング・ロータリークラブは、2013年の設立以来、わずか2年間で多くのことを成し遂げました。ほかの5つのクラブおよび非営利団体「Hug It Forward」と協力してグアテマラの中学校建設を支援したほか、クラブ初の地区補助金活動として、地元サンフランシスコの生徒にコンピュータープログラミングの研修を無料で提供。さらに、インターアクトクラブのメンバーと一緒に、ハビタット・フォー・ヒューマニティのための家づくりも行いました。

このクラブを成功に導いた一番の要因は、型にはまらないアプローチです。アフターファイブにワインバーで例会を開き、クラブの全活動をソーシャルメディアで紹介。親睦を深めるために例会以外にも集まることがあるそうです。この戦略により、会員数は30%アップし、30名から40名以上に増えました。

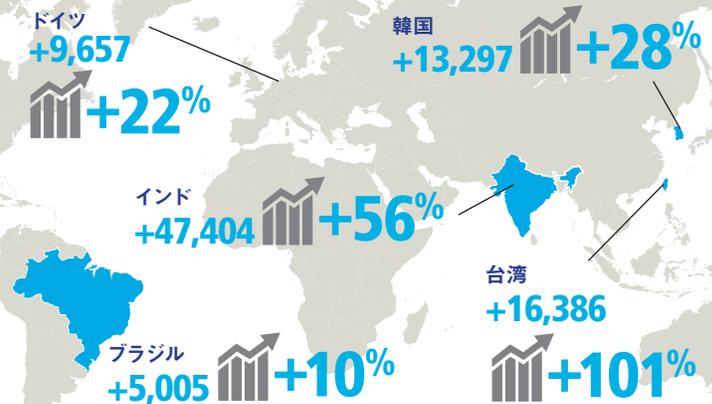
会員のほとんどは30代と40代。半数近くが米国以外の国籍です。理事会の会議では、出席できない役員のためにスカイプや電話会議も使います。さらに、このクラブの成功がきっかけとなり、同じ地域にもう一つのクラブと二つの仮クラブが結成されました。

(右ページ) グアテマラの学校建設を手伝うサンフランシスコイブニング・ロータリークラブ会員と他クラブの会員たち。

## 若手ロータリーファミリーが ロータリーの未来を語り合う

2014年9月にシカゴで開かれた「ヤングプロフェッショナル・サミット」で、ロータリーのリーダー、若手ロータリアン、ローターアクター、ロータリープログラム学友が集まり、それぞれの体験やアイデアを交換しました。今のロータリーで成功していることは何か、改善できることは何か、世界

## 2005～15年に会員数が最も増加した国々



でもっと多くの若い職業人に参加してもらうにはどうしたらよいかなどを、率直に話し合いました。

「ロータリークラブのプロジェクトにおいてローターアクターや若い職業人に協力してもらう」、「地域での奉仕と入会者の開拓のために、地元団体、事業者団体、企業との共同プロジェクトを行う」など、多くのアイデアが出されました。

ほかの国や地域でも同様のイベントを開き、若い職業人とのつながりを強めてロータリー会員基盤を築くことが奨励されています。

**「ロータリーの趨勢(すうせい)を変えるためにクラブで実践できるアイデアが得られました」**

キャスリン・フェイ  
第5970地区ガバナー (米国イリノイ州)

(下) シカゴで開かれたヤングプロフェッショナル・サミットで、参加者らによる即興セッションを見守るロータリーのリーダー





「アフターファイブの例会が成功のカギ  
です。ほかのクラブでもできるはずです」

ダニエル・ラルモント  
サンフランシスコイブニング・ロータリークラブ  
(米国カリフォルニア州)

ロータリークラブへの入会、ボランティアの世界的ネットワークへの参加方法、入会者の紹介など、  
入会や会員組織に関する情報は、[www.rotary.org](http://www.rotary.org)の「[会員コーナー](#)」をご覧ください。

A close-up photograph of a woman wearing a vibrant red headscarf and a matching red garment. She is looking down with a gentle expression at a young child who is lying back. The woman is holding a small, clear vial with a green cap, from which she is administering a drop of liquid into the child's mouth. The child is wearing a light-colored, sleeveless top. The background is dark and textured, possibly a wall. The overall mood is one of care and focus.

## ポリオを撲滅する

「昨年、私たちはロータリーとともに大きく前進しました。このまま世界がポリオ撲滅に力を注ぎ続ければ、“ポリオのない世界”の実現は遠くありません」

ハミド・ジャファリ、  
世界保健機関における  
世界ポリオ撲滅推進活動の責任者

## 見えてきた「ポリオのない世界」

「ポリオの症例数は全世界で減り続け、撲滅は目前」という世界ポリオ撲滅推進活動 (GPEI) の保健責任者の言葉通り、ナイジェリアを含め、アフリカ大陸で1年以上にわたり野生型ポリオウイルスによる発症ゼロが続いており、パキスタンでも1年前と比べて70%近く減少しています。

さらに、3型野生株ポリオウイルスによる発症数は、2年半にわたり全世界で1件も報告されておらず、3型ウイルスの撲滅が確認されれば、残るは1型ウイルスのみとなります。

ロータリアンは引き続き、予防接種、募金、社会動員、政府への支援の働きかけに多大な時間とリソースを注いでいます。撲滅を成し遂げ、ポリオのない世界を実現するカギは、資金調達、政府の関与、高い予防接種率、徹底したサーベイランス (監視) 活動にあります。

GPEIの中心的存在であるロータリーは、世界保健機関 (WHO)、ユニセフ、米国疾病対策センター、ビル&メリンダ・ゲイツ財団とともに、ポリオ撲滅のラストスパートに総力を挙げています。この最後の一押しを支援することで、身体まひを引き起こす恐ろしい病、ポリオから永遠に子どもたちを守ることができます。

(左ページ) ナイジェリアでの全国予防接種日にワクチンの投与を受ける子ども。

## 「ポリオのないアフリカ」まであと少し

アフリカ大陸におけるポリオの「発信地」となっていたナイジェリアで野生型ポリオウイルスの感染が食い止められたことにより、アフリカのポリオ撲滅認定にまた一歩近づきました。2014年8月11日にソマリアで症例が確認されたのを最後に、アフリカでは発症が1件も報告されていません。

アフリカ諸国は、不安定な治安や交通手段のない僻地での予防接種など、数々の大きな課題を乗り越えてきました。

ロータリーはこれまでに、ナイジェリアへの2億700万ドルを含め、アフリカでのポリオ撲滅活動に6億8800ドル以上を投入しています。ロータリアンは、率先して時間、労力、私財を注ぎ、アフリカでのポリオ撲滅を支援してきました。

## 残るは2カ国のみ

今も残るポリオ常在国はわずか2カ国。全世界の新たなポリオ発症件数は、GPEIの開始以来、99.9%減少しています。1988年に35万件だった発症数は、2015年6月には40件を下回っています。



**最後の0.1%**との闘いが最も困難であるとされています。これは、予防接種が最も行き届きにくい地域にウイルスが根強く残っているためです。

(下) 子どもにポリオワクチンを投与するコートジボワール・ポリオプラス委員長、マリー・イレーネ・リッチモンド・アフアさん。同国では2011年以来、ポリオの発症が1件も報告されていません。



## アドボカシーと補助金提供で ロータリーが大きく貢献

ロータリーは、政府へのアドボカシー（支援の働きかけ）や補助金の提供など、世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI）で中心的役割を果たしています。この1年間のハイライトを以下にご紹介します。

**2015年6月** 世界保健機関とユニセフによる10カ国でのポリオ予防接種、サーベイランス、研究活動、およびアフリカ諸国での技術支援に、ロータリーが4030万ドルを提供。

欧州議会の議員の半数以上が、ポリオ撲滅を支援する宣言に署名。この署名に先立ち、欧州のロータリー会員が自国の議員に連絡してポリオ撲滅の重要性を訴えました。

**5月** ポリオ撲滅に多大な支援をした日本政府と安倍晋三首相に対し、ロータリーがポリオ撲滅推進功労賞を授与。安倍首相のリーダーシップの下、日本の国際協力機構（JICA）は、ナイジェリアでの予防接種用の経口ポリオワクチン購入のために8000万ドル近くを借款、パキスタンでの予防接種活動支援のために540万ドルを寄付することを承認しました。

さらにロータリーは、米国連邦議会の5人の議員に対し、ポリオ撲滅推進功労賞を授与しました。米国政府は、米国疾病対策センターと米国国際開発庁を通じ、2015年のポリオ撲滅支援のために2億1780万ドルを提供。ロータリーの米国ポリオ撲滅アドボカシータスクフォースは、米国政府およびほかの資金提供団体にGPEI支援の重要性とメリットを伝える上で大きな役割を果たしました。

**1月** 10カ国（ポリオが常在するアフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンを含む）でのポリオ予防接種活動を支援するため、ロータリーが3480万ドルの補助金を提供。

**2014年10月** ポリオ撲滅を支援したカナダのステューブン・ハーパー首相に対し、ロータリーがポリオ撲滅推進功労賞を授与。カナダ政府は、ポリオ撲滅におけるロータリーとの長年のパートナーであり、支援国の中でもリーダー的存在となっていて、特にアフガニスタンとナイジェリアでの取り組みに力を注いでいます。同国は2013年からの5年間で2億5000万カナダドルをGPEIに投入することを約束したほか、2014年からは母子の健康の取り組みを支援するなど、引き続き精力的に支援を提供しています。

シカゴで「End Polio Now:歴史に1ページを刻もう」と題するイベントが開かれ、ロータリーリーダーのほか、世界的な保健のエキスパートや有名歌手が出席しました。ロータリーとサノフィパスツールが共同主催したこのイベントは、大勢の来



『タイム』誌の科学・テクノロジー部編集者、ジェフリー・クルーガーさん（左）と米国疾病対策センターのシニアメディカル疫学者、ジェームズ・アレキサンダーさん。「End Polio Now:歴史に1ページを刻もう」イベントにて。

場客に加え、インターネット中継を通じて世界中の人びとに発信されました。

**7月** ロータリーが、ポリオ予防接種、サーベイランス、研究に4360万ドルを提供。

## 世界中のロータリアンが撲滅を後押し

活動のハイライトをご紹介します。

ロータリアンと支援者らが、米国アリゾナ州で開かれた自転車レース「El Tour de Tucson」に挑戦して300万ドル以上の募金を達成。ロータリーから出場した人の中には、ジョン・ヒューコ事務総長と6名のロータリー職員の姿もありました。

ロータリークラブが企画した台湾での自転車駅伝で、200万ドル近い募金に成功。400人以上のロータリアンが参加し、9日間かけて延べ1000キロメートルを自転車で走りました。

ブラジルのロータリアンが100万ドルのDDF（地区財団活動資金）をポリオ撲滅に寄贈。同国のロータリーガバナーの協力によって実現しました。

トラバースシティ・ロータリークラブ（米国ミシガン州）が創設した公益財団「Rotary Charities of Traverse City」が250,000ドルを寄付しました。

レディングマティンス・ロータリークラブ（英国パークシャー）は、ゲームソフトメーカーのYogscastとHumble Bumbleが運営するクリスマス慈善キャンペーンに参加し、210,000ドルの募金に成功しました。

ペイ・ド・ヴィトレ・ロータリークラブ（フランス）と、パリを拠点とする資産運用会社Le Conservateur Groupは、過去2年間、「End Polio Now」のロゴをつけた約12メートルのヨットで太平洋横断ヨットレース「Le Conservateur」に出場し、230,000ドル以上の募金に成功しました。

## 30年目を迎えた「ポリオプラス」

世界ポリオ撲滅を目指すキャンペーン、「ポリオプラス」を1985年にロータリーが始めてから30年。その3年後の1988年には、世界保健総会がポリオ撲滅を決議し、ロータリーは、世界保健機関、ユニセフ、米国疾病対策センターとともにGPEIを結成しました（後にビル&メリンダ・ゲイツ財団も参加）。

以来、ロータリーはGPEIの中心的存在となって、年間35万件だったポリオ発症数を、2015年6月時点で40件未満にまで減少させました。これまでに、25億人以上の子どもへの予防接種を支援し、GPEIに14億ドル以上を投入。寄付国政府から72億ドル以上の支援を確保しています。

（右）地域の人びとへの配布用として、防虫加工された蚊帳を受け取るナイジェリアのロータリアンとローターアクター。ポリオプラスは、ポリオだけでなく、はしかの予防接種、マラリア予防の蚊帳の配布、清潔な水の提供など、ほかの保健問題にも取り組んでいます。

「世界がポリオ撲滅に近づいたのは、ロータリアンによる懸命な活動があったからです。ロータリアンの努力により、122カ国からポリオがなくなっただけでなく、世界が抱える無数の保健問題に取り組むためのロードマップが描かれました。ロータリアンは、このことを誇りとすべきです」

マイケル K. マクガバン  
インターナショナル・ポリオプラス委員長



写真提供：MICHEL JAZZAR

## 「End Polio Now：歴史に1ページを刻もう」キャンペーン

2013年～2018年にロータリーがポリオ撲滅に直接投入する資金（年間3500万ドルまで）に対し、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が2倍額を上乗せします。ロータリーが年に3500万ドルの拠出に成功すれば、上乗せを含めてポリオ撲滅に5億2500万ドルが投入されることになります。

ご寄付 **3500** 万ドル + **7000** 万ドル  
ビル&メリンダ  
ゲイツ財団からの上乗せ

年間の寄付総額

**1億500** 万ドル

ご寄付が3倍となってポリオ撲滅に役立てられます。ご寄付は[www.rotary.org/ja/give](http://www.rotary.org/ja/give)からお願いいたします。

## パキスタンでも順調な進展

2014年、世界のポリオ発症の80%以上はパキスタンから報告されたものでした。しかし、同国政府の支援、ロータリーと協力団体による取り組み、宗教指導者からのサポートにより、ポリオの発症数は70%近くも減少しました。



写真提供：DIEGO IBARRA SÁNCHEZ



## 若者を応援し 若い職業人に活躍の場を

「地域社会のために、僕たちにもできることがあります。インターアクターも社会のために活動したいと願っていることを多くの人に知ってもらいたい……」

カイル・ゴメス  
ヒューボイド・セカンダリースクール・インターアクトクラブ  
(カナダ、ブリティッシュコロンビア州)

若者や若い職業人のためのプログラムについて詳しくは、[www.rotary.org](http://www.rotary.org)をご覧ください。

## 職業研修を通じて女性に力を与える

インド、ウッタルプラデシュ州のSRCCパンチシーラパーク・ローターアクトクラブが実施した「プロジェクト・アズマツ」では、これまで素手でトイレ清掃をしていた女性たちに職業研修を提供し、家計と自立をサポートする活動が行われました。

このような不衛生な清掃方法は1993年に正式に禁止されたものの、実際には国内のいたるところでまだ行われています。これらの女性たちの多くは、一家の稼ぎ頭であるにも関わらず、収入は微々たるものです。

「プロジェクト・アズマツ」では、ローターアクターが、国際的な非営利組織「Enactus」とパートナーシップを組み、女性たちに基本的な読み書きを教えただけでなく、洗剤の作り方と販売方法も同時に研修しました。また、メンテナンスが必要なく、少量の水を利用して排泄物を肥料に変えることができる汲み取り式トイレを設置し、衛生状態の改善と疾病予防を達成しました。現在までに120基以上のトイレが設置されており、これによって女性たちは以前の排泄物清掃を行う必要がなくなり、洗剤を販売することで生計を立てられるようになりました。このプロジェクトは本年度の卓越したローターアクト・プロジェクト賞(国際賞)を受賞しました。

(左の写真) 洗剤の材料を測る女性。「プロジェクト・アズマツ」では女性たちに実用的な職業スキルを教えています。

## 若者による奉仕活動にスポットライト

ヒューボイド・セカンダリースクール・インターアクトクラブ(カナダ、ブリティッシュコロンビア州リッチモンド)のメンバーは、2003年以来、ヨハネスブルグ(南アフリカ)にある孤児院「Refilwe」を支援しています。2年に一度、支援活動を行い、スポンサークラブ(リッチモンド・ロータークラブ)の会員、地元教員、消防士とも協力。2013年には



写真提供: THE INTERACT CLUB OF HUGH BOYD SECONDARY SCHOOL

1カ月にわたる活動で、孤児院と幼稚園の修築に貢献しました。

このインターアクトクラブはビデオ「Our Best Day in Interact」(インターアクトでの最高の一日)を制作し、孤児院の支援活動に加え、アイススケート場で行ったポリオ募金活動、地元フードバンクのための保存食集め、サンディエゴで参加した模擬国連の様子を紹介しました。このビデオは2014-15年度インターアクトビデオコンテスト(33カ国、88作品の応募)で最優秀賞に輝きました。

(左下) ヒューボイド・セカンダリースクール・インターアクトクラブ(カナダ、ブリティッシュコロンビア州)は、地元や海外の地域社会に貢献するさまざまな活動を実施しています。

## 若いリーダーのためのロータリープログラム



## ロータリー青少年交換



## ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)

中高校生、大学生、若い社会人が参加し、リーダーシップスキルを学ぶためのプログラム

# 疾病と闘い 母子の命を救う

## 妊娠・出産時の死亡率を減らす

マラウイでは、毎年、妊婦10万人中、約670人が出産で命を落としています。そこで、リンベ・ロータリークラブ（マラウイ）とカーバレルノ・ロータリークラブ（スコットランド）は、グローバル補助金を使って死亡率を減らすためのプロジェクトを実施しました。プロジェクトでは、産科フィスチュラの問題改善に取り組む団体「Freedom from Fistula Foundation」とも協力し、遠隔地のクリニックで働く助産婦150人を対象とした研修を行いました。

リベリアでは、地元のシンコール・ロータリークラブと米国のロスアルトス・ロータリークラブが手を組み、妊娠早期のHIV検査と、妊娠中・産後のケアを提供するためのグローバル補助金プロジェクトを行っています。妊婦が適切なHIV検査と治療を受ければ、胎児へのHIV感染率を抑えることができます。この活動を通じて、セーブ・ザ・チルドレンの運営する23のクリニックで、HIV感染した子どもの数を2年間で95%減らすことを目指しています。

早産による赤ちゃんの死亡や後遺症を減らすため、インドのプネプライド・ロータリークラブと米国のベスレヘム・ロータリークラブがプロジェクトを立ち上げました。グローバル補助金を使い、インドで実施されたこのプロジェクトで

は、母親たちから母乳を無料提供してもらい、これを病院で保管、配布するというもの。今後7年間で、毎日100人の新生児の成長を助けられる見込みです。

**「マラウイの助産師を研修するため、継続的に貴重な支援を提供してくれたスコットランドのロータリークラブに感謝の気持ちでいっぱいです」**

Freedom from Fistula Foundation

## エボラ対策に取り組む

ナイジェリアでのポリオ撲滅活動を通じて築かれた活動基盤は、エボラ出血熱への対策にも役立っています。アブジャ・グワリンバ・ロータリークラブの会員は、ポリオの予防接種や啓蒙活動の経験を生かし、地元住民にエボラの正しい知識を広め、ラジオを通じた予防法の周知を行っています。

リベリアでは、支援団体「アフリカン・ドリーム・アカデミー」が主催した活動で340人以上のボランティアが人びとに食料や物資を届け、エボラ感染予防に関する説明会を開きました。この団体は、米国のヨンカーズイーストヨンカーズ・ロータリークラブ会員、サミュエル・エンダースさんが創設したもので、ほかにも600人近くのチームを結成して75以上の地域に水、バケツ、漂白剤、食料、Tシャツを提供し、相談会を実施しました。

**「ロータリアンの助けがなければ、私たちはここまで活動を成功させることはできなかったでしょう。支援とアドバイスによって希望を与えてくれた皆さんに心から感謝しています」**

サミュエル・エンダース  
ロータリー会員

アフリカン・ドリーム・アカデミー創設者・事務局長

（左）エボラウイルスについて説明したチラシを張るリベリアのローターアクター。





## スリランカでのがん予防

コロンボ・ロータリークラブが設立したがん予防・早期発見センターで検診を受けた人の数は、35,000人以上に上ります。子宮頸がんや乳がんの検査も頻繁に行われており、さらなるケアを必要とする症例7,500件を特定できました。

ロータリーの補助金、母子の命を救う活動、疾病予防と治療を助ける活動について詳しくは、[www.rotary.org](http://www.rotary.org)をご覧ください。



# きれいな水を提供する

「以前と比べて水質が格段に改善され、より健康な生活を送れるようになったことが一目瞭然です」

アコ・オドティ  
テーマ・ロータリークラブ会員 (ガーナ)

## 活動のパートナー

ロータリーは世界各地で人道的活動に取り組むため、多くの国際機関、非営利団体、教育機関と協力しています。詳しくは、[www.rotary.org](http://www.rotary.org)をご覧ください。

### ポリオ撲滅活動

ロータリーは、以下の組織とともに、世界ポリオ撲滅推進活動 (GPEI) で中心的役割を担っています。

- 世界保健機関 (WHO)
- ユニセフ
- 米国疾病対策センター
- ビル&メリンダ・ゲイツ財団
- ドナー国

## 国連

ロータリーは、国連や国際組織との協力を強めるため、代表者を各団体に派遣しています。

### 戦略パートナー

ロータリーは以下の団体と戦略パートナーシップを結び、ロータリアンに奉仕の機会を提供しています。

- アガ・カーン大学
- ユネスコ水教育研究所 (UNESCO-IHE)

### プロジェクトパートナー

「シェルターボックス」は、災害救援活動におけるロータリーのパートナーです。

## USAIDとの協力でガーナの衛生環境を改善

ロータリーは、米国国際開発庁 (USAID)、政府機関、パートナー団体と協力し、ガーナ人口の80%に当たる人びとにきれいな水をもたらす、ギニア虫の駆逐活動で成果を上げています。ただし、安全な衛生施設を使える人口はまだ14%にすぎません。

ロータリーとUSAIDによるパートナーシップ「国際H2O協力」では水関連の問題に取り組んでおり、これまでに57の掘削孔、20の井戸、40以上の公立学校のトイレ、3つの公衆トイレとシャワー、3つの水供給システムを設置しました。また、設備導入と併せて、衛生教育にも力を入れています。

現在、活動域がさらに拡大し、ガーナ、ドミニカ共和国、フィリピン、ウガンダでのプロジェクトにそれぞれ400万ドルが投入されています。

(左の写真) 井戸から汲んだきれいな水で体を洗う少女。

## 水確保を新しい発想で

蛇口をひねればきれいな水が出る、といった当たり前にも思えることも南アフリカの遠隔地ではそう簡単にはいきません。ただ家族で使用する水を汲むだけのために、女性たちは毎日4～6時間も歩かなければならないからです。

カナダのギブソンズ・ロータリークラブは、そうした南アフリカの村人たちを助けるため、水を運ぶための50台の特

別容器「ウォーターローラー」を届けました。この樽型の容器には取手がついており、一度に90リットル (5人が一日に必要なとする量) の水を運ぶことができます。

これで女性たちは、水20リットルのバケツを頭にのせて運んだり、首や腰の痛みを苦しんだりすることもなくなりました。また、水汲みの回数も減ったため、女性や子どもたちが教育や家計を助ける活動により多くの時間を費やすことができるようになりました。

## 「ウォーターローラーというシンプルで簡単な発明により、女性たちが水汲みの重労働から解放されました」

ルーク・ボスターマン  
ギブソンズ・ロータリークラブ  
(カナダ、ブリティッシュコロンビア州)

(下) 南アフリカで、ウォーターローラーを使ってきれいな水を運ぶ女性たち。



写真提供: THE HIPPO WATER ROLLER PROJECT

[www.rotary.org](http://www.rotary.org) について詳しくは、[www.rotary.org](http://www.rotary.org) をご覧ください。

### 奉仕パートナー

以下の団体は、各地のロータリークラブと協力して活動を行っています。

- 米国平和部隊  
(Peace Corps、国際開発とボランティアで協力)
- ドリーウッド財団のイマジネーション・ライブラリ
- グローバル・フードバンキング・ネットワーク
- 国際読書協会
- YSA (青少年活動を推進する米国団体)

### 政府機関

国際ロータリーと米国国際開発庁 (USAID) は「国際H2O協力」のパートナーシップを通じて水・衛生プロジェクトを支援しています。

### ロータリー平和センター

ロータリー財団は以下の大学にロータリー平和センターを設け、平和と紛争予防／紛争解決の分野で学ぶためのフェロウシップ (奨学金) を提供しています。

- チュラロンコン大学 (タイ)
- デューク大学とノースカロライナ大学チャペルヒル校 (米国)
- 国際基督教大学 (日本)
- ブラッドフォード大学 (英国)
- クイーンズランド大学 (オーストラリア)
- ウプサラ大学 (スウェーデン)

# 地元経済の発展を促し 教育を支援する

## 長期的な経済発展を支える エクアドルのプロジェクト

エクアドルのエスメラルダスでは、ロータリー会員がマイクロファイナンス（小口融資）機関と協力して貧しい女性たちに起業資金を提供し、新事業を始めるためのスキルを教えています。この活動を始めたのは米国カリフォルニア州のマリンイブニング・ロータリークラブ。米国とエクアドルの64クラブに協力を呼びかけてグローバル補助金を申請し、現地の人と力を合わせてプロジェクトを実施しています。

グローバル補助金75,000ドルを含むプロジェクト資金は、小口融資の元手となります。また、キトオクシデンテ・ロータリークラブ（エクアドル）とマイクロファイナンス機関が設置した職業研修センターのために裁縫やパン作りに必要な機材を購入しました。クラブ会員、政府や企業からの派遣者がセンター講師を務める中、融資を受けた女性たちがここで職業スキルとビジネスを学びます。

（左下）自分の店で、自ら作った製品について説明する小口融資の受領者。（右下）プロジェクトのおかげでより多くの商品を生産・販売できるようになったパン屋のオーナー。

「心に残っているのは、自分で作った製品を手にとりとても誇らしげな女性たちの姿です。彼女たちは、もはや貧困の犠牲者ではなく、“問題解決者” となったんです」

キース・アクステル

マリンイブニング・ロータリークラブ（米国、カリフォルニア州）

## 「学校+水=教育」の方程式

カナダのロータリアンが運営する非営利団体「Adopt a Village」は、ラオスに新しい校舎6棟を建設し、ほか6校の増設を支援しました。さらに、水フィルター2,000基の提供、ダム建設、水道設置といった活動も行っています。

特にハットカーム地域では、Adopt a Villageが地域全体に新しいトイレを設け、各家庭に水フィルターを設置。この地域に住みたいと希望する人も増え、校舎に必要なスペースも確保することになりました。このように、生活を総合的に支援するプロジェクトのおかげで、住民の生活が大きく改善されています。

（右）「Adopt a Village」プログラムにより完成した校舎に椅子や机を運び込むラオスの子どもたち。



写真提供：ROTARY CLUB OF MARIN EVENING

[www.rotary.org](http://www.rotary.org)をご覧ください。



「子どもたちは水汲みに忙しく、学校に通うことができませんでした。また、きれいな水が手に入らないために病気にかかる人がたくさんいました。そこで私たちは、水、トイレ、フィルターをまとめて提供するプロジェクトを行ったんです」

スティーブ・ラトレッジ  
ウィットビーサンライズ・ロータリークラブ  
(カナダ、オンタリオ州)  
Adopt a Village創設者



## 平和な明日を築く

「難民に研修を提供すれば、彼らは自ら生計を立てるための術を身に付け、明日への希望を見出すことができます」

マハマド・アフマド  
元平和フェロー  
ノルウェー難民委員会エチオピア・プログラムの  
教育プログラム・コーディネーター

Rotary.orgからロータリー平和センターの詳細と支援方法をご覧ください。

## 難民が新たな一歩を踏み出せるように

戦争や紛争によって家を追われた人びとの数は6000万人を超え、今日もその数は増え続けています。ロータリー平和センター・プログラムでは、2002年のプログラム開始以来900人以上の平和フェローが卒業し、変化の推進者として、増加する難民の再出発を支援しています。

「私も難民でした。避難生活を送り、その後帰還したのです」。このように話すのは、ソマリア出身のマハマド・アフマドさんです。

2010年にブラッドフォード大学(英国)にあるロータリー平和センターを卒業したアフマドさんは、現在、ノルウェー難民委員会エチオピア・プログラムの教育プログラム・コーディネーターをしています。同委員会は2014年、ケニア、ソマリア、エチオピア、南スーダン、イエメンの100万人以上の人びとに人道的支援を行いました。また、何千人ものアフリカ難民を対象とした職業スキル研修も実施し、電気工事、溶接、洋服仕立てなどのスキルを若者に教えています。また、小さい子どもには基本的教育を提供しています。

(写真左) 洋服仕立ての研修コースを終えた若者にミシンを配る元平和フェローのマハマド・アフマドさん(右)。

## 信頼と友情で暴力に立ち向かう(ケニア)

ケニア北部のある地域社会では、リソースが乏しい上に部族間の信頼関係がないため、流血沙汰や家畜の奪い合いなど、何十年にも渡って暴力が引き起こされてきました。

そこで元ロータリー奨学生モニカ・キニユアさんと双子の妹であるワンジル・キニユアさんは、部族間の子どもた



ちの友情を培うことで争いの収束を目指す「Children Peace Initiative Kenya」(子どもたちの平和活動)という団体を創設しました。

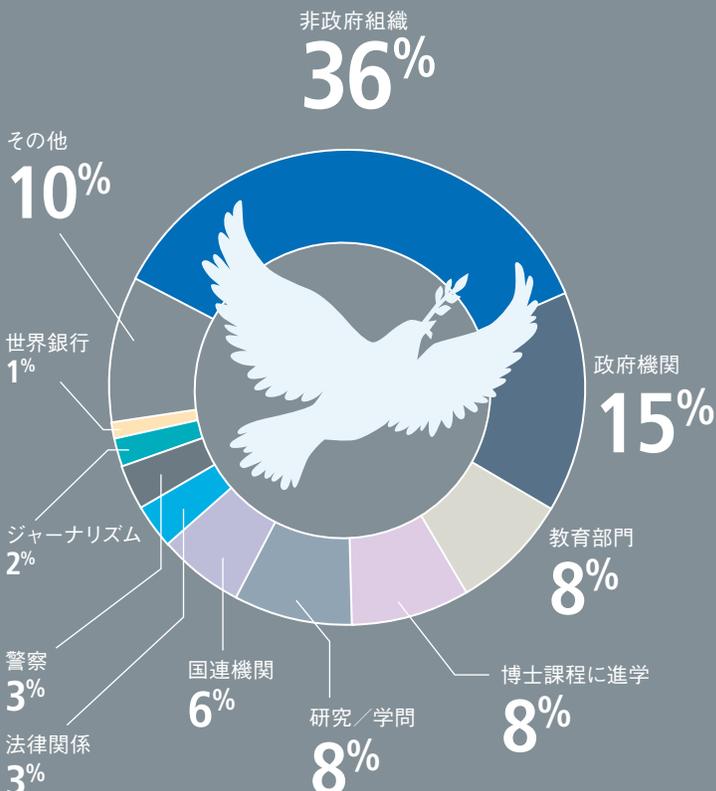
また、この姉妹の取り組みをサポートしようと、サンディエゴ(米国カリフォルニア州)とナイロビ(ケニア)のロータリアンが協同でグローバル補助金を活用し、暴力が多発する地域で平和キャンプを実施しました。子どもと教師が参加したこのキャンプによって、地域での暴力緩和につなげることができたとモニカさんは話します。

(左下の写真) 元ロータリー奨学生のモニカさん(右)と妹のワンジルさん。信頼構築を通じて地域の暴力問題に取り組むための団体を設立しました。

**「このプログラムで子どもたちが平和構築にかかわり、その効果を各家庭や地域社会全体に影響を広げることができます」**

モニカ・キニユア  
元ロータリー奨学生  
Children Peace Initiative Kenya共同創設者

## ロータリー平和センター卒業者の進路



# ロータリーの活動を支える

## ロータリーで人生を変える

ロベルト・ルイズ・バロソさん（ブラジル、サントス・ロータリークラブ会員）にとって、ロータリーは家族の伝統ともいえる存在です。子どもたちもロータリアンで、その内の一人フィルホさんは2010年、妻のエリアンさんと一緒にアーチ・クランフ・ソサエティ（AKS）に入会しました。さらには孫たちもロータリー青少年交換に参加した経験があります。

ロベルトさんはまた、ロータリーへの参加を通じて人生が変わると考えます。

「AKSは、息子が最初に入会したように、家族にとって重要なこと」と話すロベルトさんは、2015年4月、妻のイサさんとAKSに入会しました。「また、AKSを通じて世界中の地域社会に変化をもたらし、世界の平和に貢献できるということも重要な点です」



写真提供：ROBERTO LUIZ BARROSO

特別な支援を必要とする子どものための団体で会長をしているロベルトさんは、社会奉仕の重要性を理解し、ロータリーのプロジェクトに大きな信頼を寄せています。

**「私たちがロータリー財団に寄付するのは、その活動の重要性と真摯に取り組む姿を知っているから。そして、世界中で変化をもたらす信頼できる団体だと考えるからです」**

ロベルト・ルイズ・バロソ  
サントスロータリークラブ（ブラジル、サンパウロ州）  
メジャードナー

（左の写真）ロベルトさんとイサさんご夫妻。国際ロータリー世界本部のAKSギャラリーにて。

## ロータリーの活動をさらに広げる

2015年1月、チャック・ハウィさん（米国ミシガン州、トレントン・ロータリークラブ会員、メジャードナー）は、ロータリーの支援で完成した18万ガロンの給水塔を見るために、カリブ海に浮かぶセントルシアの島を訪れました。ハウィさんは1年以上、第6960地区（米国フロリダ州）のガバナーとその他のロータリアンと協力し、給水塔の建設をサポートし、島の地域住民3,000人にきれいな水をもたらすことができました。

ハウィさんは次のように話します。「ロータリアンが皆で力を合わせて実施し、大きな成功を取めることができました。本当に感極まる思いです」

当初、彼の心を動かしたのは、セントルシアの地域住民が抱えていた水のニーズでした。セントルシアではほぼ30年間、プロジェクト資金が政府から下りず、地域住民は深刻な水問題を抱えていました。住民の窮状に心動かされたハウィさんは財団に寄付し、さらに6地区から合計112,500ドルの資金が集まりました。この取り組みは、ロータリー会員の力強いチームワークを物語る良い例です。

（右のページ）チャック・ハウィさん（左から2番目）。セントルシアの水プロジェクト現場にて。

「世界でよいこと」をするためにロータリーの活動にご協力ください。[www.rotary.org](http://www.rotary.org)

「ロータリーを通じて、支援を必要とする  
世界中の人びとに手を差し伸べることが  
できます」

チャック・ハウイ  
トレントン・ロータリークラブ (米国ミシガン州)  
ベニス・サンライズ・ロータリークラブ  
(米国フロリダ州、冬季のみ)  
メジャードナー



写真提供: CHUCK HOWEY

## 2014-15年度にアーチ・クランフ・ソサエティ (AKS) に入会した方々 (敬称略)

### 財団サークル

(寄付額1,000,000ドル以上)

Terrence R. and Barbara C. Caster  
Joseph P. and Linda K. Grebmeier

### 管理委員長サークル

(寄付額500,000~999,999ドル)

Sandra Lynn and A. John Wiley Jr.

### 管理委員会サークル

(寄付額250,000~499,999ドル)

Vicente José Gerardo Arbesú and  
Maria de los Angeles Lago Garcia †  
Valdemar L. and Neusa B. Armesto  
Archimedes and Samira J.S. Baccaro  
Vinod and Sangita Bansal  
Roberto Luiz Barroso and Isa M.R. Barroso  
Ronald J. and Marilyn K. Bedell  
Dorothy "Dot" Cada  
Joy Chun-Hsung Chen and Doris Pi-Yun Chiang  
Garment Ron-Chu and Hung-Yun Chen  
Karen N. Clarke  
John G. and Charlene S. Cox

Wayne C. and Lee Ann Cusick  
Jayme Garfinkel and Monica Sampaio e Silva  
Ronald G. and Glenys Geary  
Wayne E. Grabenbauer Sr.  
Rajesh and Seema Gupta  
Sushil and Vinita Gupta  
Hervé and Annick Hacad  
Ken Kuan-Chun Hsu and Lisa Hsing-Hui Lee Hsu  
Krishankumar B. and Subhadra † Jindal  
Revi † and Betty Karan  
Kal Kardous and Marie-Claire Marroum-Kardous  
Suresh Kumar and Kiran Poddar  
Lawrence G. and Maureen A. Labadie  
Dong-Joon "Don" and Duck-Ja "Diane" Lee  
Jackson Ming-Jih Li and E Tan Chen  
Propeller Yeun-Junn Lin and Ann C.C. Tsai  
Robert F. and Yvonne Y. Kuan  
Martin and Mary Catherine Limbird  
Russel S. and Susan C. Miller  
SP Malhotra † and Rajinder Mohini †  
Ernest R. and Sally Montagne  
Dan Morales  
Dick Yukio Nerio † and Margaret Nerio

Gopal and Kavita Nihalani  
Irfan Razack and Badrunissa Irfan  
Kay E. Resler  
Audrey June † and Reed Stuart Robertson  
Carlos L. and Manuela Dorantes del Rosal  
Rajendra K. and Usha Saboo  
David Saint John and Maureen C. Anderson  
Eufrasio Sandoval † and  
Aurelia Delgado de Sandoval  
V. Raja Seenivasan and  
Jayanthi Raja Seenivasan  
Mustain and Sari Sjadzali  
Claudio and Marie Takata  
Carl W. and Lina Z. Treleaven  
OBS Pai-Chou Tu and Hsieh Kuei-Mei Tu  
Takeshi and Miuki Mochida Ussui  
Otto and Fran Walter Foundation  
Ronald F. Winecoff and Billi J. Black  
Eugene G. Wons and Gwenn A. Ramage-Wons  
T.Y. Tsu-Ying Yang and  
Tina Ching Hsiu Chuang Yang  
† 故人

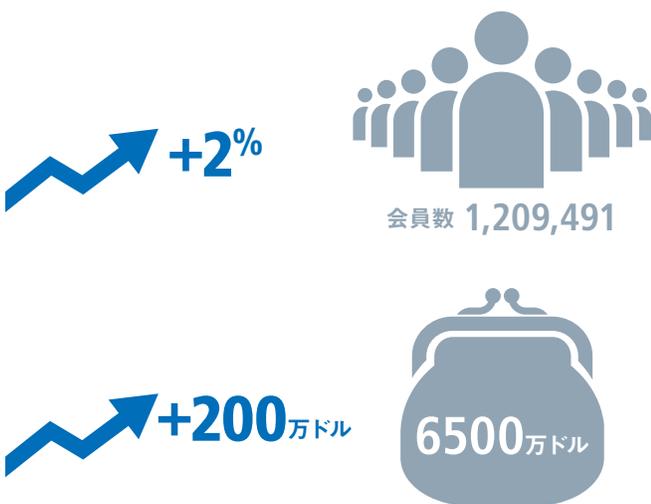
# 資金管理

200を超える国や地域で29種の通貨が使用されるロータリーでは、適切な資金管理と持続可能な財務が極めて重要となります。世界各地から寄せられるご寄付は、財団による賢明な投資を経て、変化をもたらすための補助金や、プログラム・業務提供に充てられます。ロータリーでは、運営に関するあらゆる法令や規則の順守にも力を入れています。

## ロータリーの収入

会員制のロータリーでは、その費用を主に会費で賄っています。2014-15年度、ロータリー会員の数は約2万人増加し、前年度比で2%近くの増加となりました。会員数の増加に加えて、会費が1ドル増加したため、結果として会費からの収入が200万ドル増えました。

## 会員数／会費による収入 (RI)

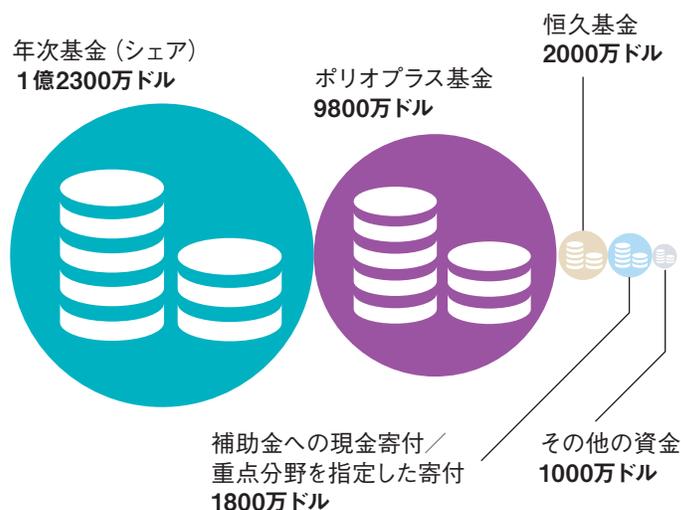


クラブで集めた寄付からメジャードナーによる多額の寄付にいたるまで、財団に寄せられるすべての資金が、財団の使命を支える重要なリソースとなります。2014-15年度、年次基金に1億2300万ドルの寄付が寄せられ、目標が達成されました。また、ポリオプラス基金にも2900万ドルが寄

せられ、ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの上乗せ寄付を合わせて9800万ドルをポリオ撲滅活動に充てることができました。恒久基金に寄せられた2000万ドルは基金の元金となり、恒久的に維持されます。基金の資金は投資に充てられ、得られた収益は財団の長期的な目的のために使用されます。

## 財団への寄付

(100万米ドル単位)



財団では、世界的な経済不況に対応するための仕組みを備えています。年次基金では、寄付が3年間の投資期間を経てDDF (地区財団活動資金) とWF (国際財団活動資金) に分けられます。クラブと地区は、この3年間に補助金の計画を立てることができます。また、寄付推進費と一般管理運営費は通常、年次基金からの投資収益で賄われます。投資市場の低迷期には、ロータリーの活動に影響が出ないように、それまでの年度に生じた投資収益による準備金を使用します。

ロータリーでは、ロータリー会員が組織運営にかかわる各委員会の委員となり、RI理事会と財団管理委員会に報告を行っています。これらの委員会には、財務、監査、資金管理、投資に関するものがあります。

ロータリーの財務について詳しくは[www.rotary.org](http://www.rotary.org)をご覧ください。

## 投資

2014-15年度終了時点で、ロータリーの資産は10億ドルを超えており、主に国際ロータリーとロータリー財団による投資に充てられています。投資は主に、管理委員3名と投資を専門とするロータリー会員6名から成る投資委員会によって監督されています。また、ロータリーの投資を見守り、助言を提供する外部の投資コンサルタント会社も起用しています。ロータリーの資金は経験豊かな専門家によって綿密に管理されており、ロータリーの使命を支え、長期的な安定をもたらすために慎重に投資に充てられます。

ロータリーの一般資金は、リスクを避けるためにさまざまなポートフォリオに分散投資され、その収益は、会費を補うかたちで、クラブと地区への業務提供に使用されます。

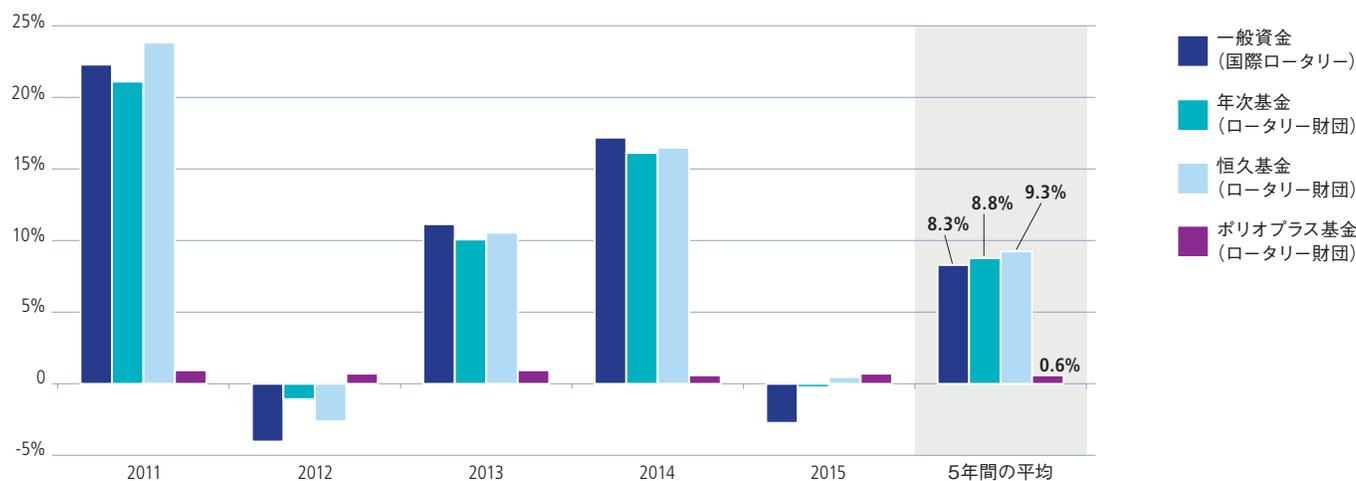
年次基金への寄付は、運営費を支えるために3年間の投資期間を経てから、地区や財団がプロジェクトや補助金に利用できるようになります。

ポリオプラス基金の資金は、低迷期に元金を保全するため、短期の確定利付証券への控えめな投資に充てられます。ロータリアン、ロータリーの支援者、ゲイツ財団を含むロータリーのパートナーから寄せられる寄付は、ポリオプラス補助金を通じて適切に配分されます。

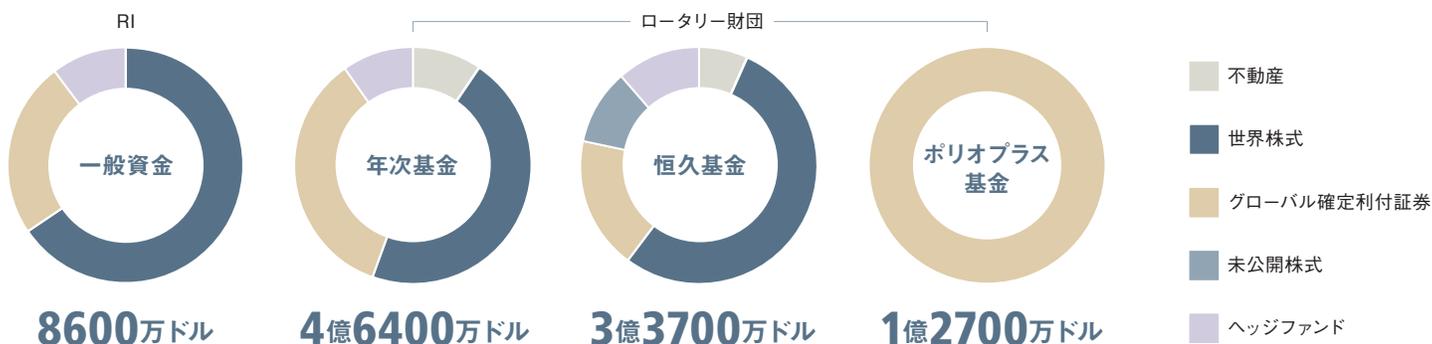
恒久基金への寄付は元金となって恒久的に維持され、投資による収益が財団プログラムを継続的に支えます。

投資の方針や実績を含む詳しい情報は、[www.rotary.org](http://www.rotary.org)でご覧ください（キーワード検索で「投資」または「investments」とご入力ください）。

## 純投資収益率



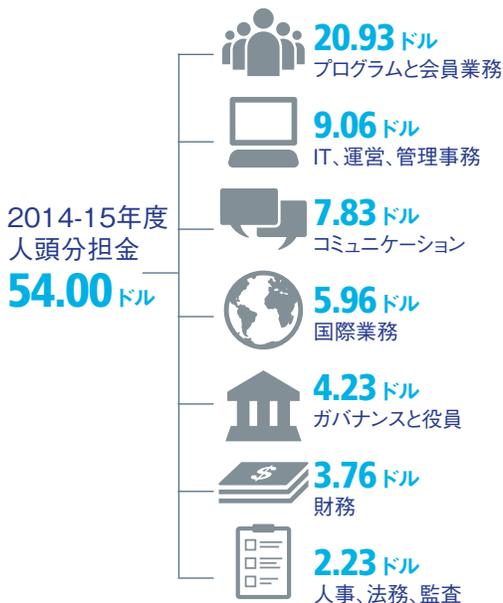
## 資産配分



## 支出

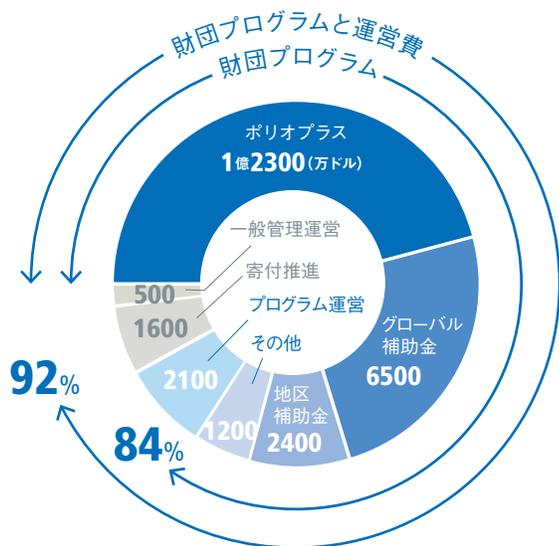
国際ロータリーの運営費は、主に会費で賄われ、投資収益で補完されています。

### 人頭分担金の使途



この年次報告で紹介されているような、人びとの生活に変化をもたらす活動は、ロータリー会員をはじめとする支援者からの温かい寄付によって支えられています。

### ロータリー財団の支出

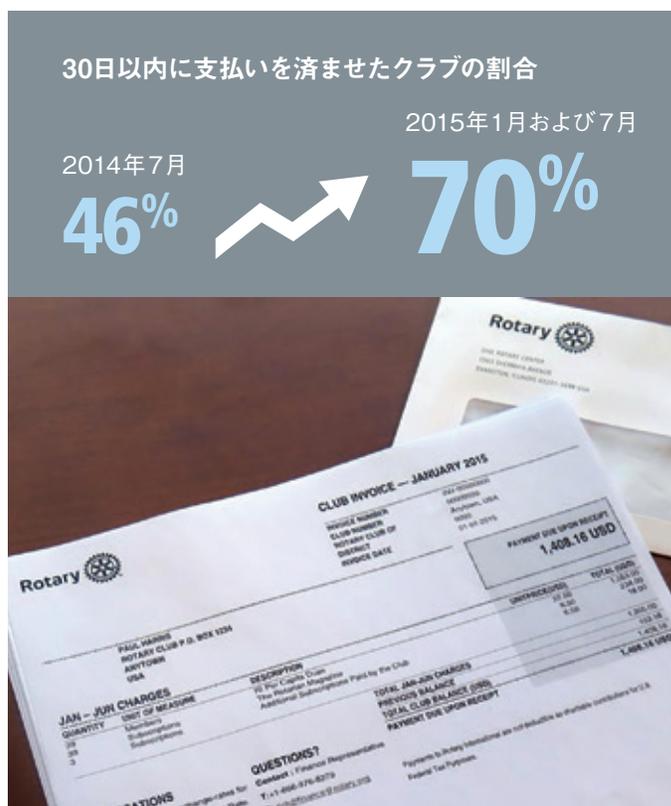


支出の84%は財団プログラムに使用され、8%がプログラムの運営費に充てられています。このことは、ロータリー財団の支出の92%が財団の使命を支えるプログラムや補助金に使用されていることを意味しています。

ロータリーでは、資金管理の一環として、コストを節約し、資金の効果を最大限にするための方法を継続的に模索しています。新たに導入されたクラブ請求書もその一つです。これまでの複雑な報告方法に代わり、2015年1月より、クラブには1ページの請求書が送られるようになりました。この請求書には、現会員数を反映した請求額が記されています。正確な額の請求書を受け取れるよう、クラブは毎月、ロータリーのデータベースで会員情報を更新することが奨励されています。

また、請求書の手続きが簡素化されたことにより、会費請求に伴う運営費が削減され、支払いサイクルも円滑になりました。クラブ請求書導入前の2014年7月では、30日以内に支払いを終えたクラブが全体の46%であったのに対し、2015年1月および7月では70%となりました。

### クラブ請求書



ロータリーの財務について詳しくは[www.rotary.org](http://www.rotary.org)をご覧ください。

ロータリー財団には、財団専門家グループと呼ばれる有志ロータリアンから成るグループがあります。このグループのメンバーは、クラブや地区が効果的な奉仕プロジェクトを計画、実施できるようサポートします。また、財団資金が適切に使用されていることを確認し、管理委員会を援助します。メンバーはいずれも、補助金に関する豊かな知識・経験だけでなく、財務監査と6つの重点分野のいずれかに関する専門知識を有しています。

## 専門家グループの役割

	2013	2014	2015
 アドバイザー	412人	394人	550人
 現地視察	86件	109件	102件
 1件の訪問に伴う平均費用	1,454ドル	1,295ドル	1,279ドル

ロータリー財団と8つの協力財団は、それぞれの国で運営に関するすべての法令や規則に従っています。国際ロータリーでは、会費を適切に処理するために、世界9カ所の事務局がクラブへの支援を提供しています。

2014-15年度にロータリーで行われた税金とコンプライアンスの申告は、世界全体で約350件に上ります。複雑な規定にも対応できるよう、専門知識を備えた職員が任務に当たっています。

また、ロータリーでは毎年、正確な財務報告書を作成するために、外部業者による監査を受けています。監査済み財務諸表、税金申告、会長・理事・管理委員の経費を含む、2014-15会計年度の財務情報は、[www.rotary.org](http://www.rotary.org)でご覧ください（キーワード検索で「財務」または「financials」とご入力ください）。

## 国際ロータリー 収支報告

2013-14年度と2014-15年度（6月30日現在、単位：1,000ドル）

収入	2014	2015
会費	63,301	65,386
投資収益(損失)	16,023	(5,123)
業務、その他の活動	26,335	22,822
<b>収入合計</b>	<b>105,659</b>	<b>83,085</b>
<b>支出</b>		
運営費	72,537	67,767
業務、その他の活動	25,102	22,961
ロータリー財団への寄付	5,357	319
<b>支出合計</b>	<b>102,996</b>	<b>91,047</b>
年金関係の調整額	8,699	(4,320)
<b>純資産の増加(減少)</b>	<b>11,362</b>	<b>(12,282)</b>
純資産(期首)	129,436	140,798
純資産(期末)	140,798	128,516

## ロータリー財団 収支報告

2013-14年度と2014-15年度（6月30日現在、単位：1,000ドル）

収入	2014	2015
寄付	259,595	268,903
投資収益(損失)	108,191	(4,798)
補助金、その他の活動(純額)	3,268	(789)
<b>収入合計</b>	<b>371,054</b>	<b>263,316</b>
<b>支出</b>		
プログラム補助金	211,421	224,322
プログラム運営	20,119	20,886
寄付推進	15,988	15,804
一般管理運営	5,089	4,854
<b>経費合計</b>	<b>252,617</b>	<b>265,866</b>
年金関係の調整額	1,973	(3,394)
<b>純資産の増加(減少)</b>	<b>120,410</b>	<b>(5,944)</b>
純資産(期首)	831,555	951,965
純資産(期末)	951,965	946,021

国際ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することです。

### 国際ロータリー2014-15年度理事会

#### 会長

ゲイリー C.K. ホァン (台湾)

#### 会長エレクト

K.R. ラビンドラン (スリランカ)

#### 副会長

セリア・エレナ・クルス・デ・ジアイ (アルゼンチン)

#### 財務長

ホルガー・クナーク (ドイツ)

#### 理事

サファク・アルパイ (トルコ)

メアリー・ベス・グローニー・セリーン (米国)

ロバート L. ホール (米国)

パー・ホイエン (デンマーク)

北 清治 (日本)

ラリー A. ランズフォード (米国)

ジュリア D. フェルプス (米国)

グレッグ E. ポッド (米国)

P.T. プラバカー (インド)

スティーブン A. スナイダー (米国)

杉谷 卓紀 (日本)

ギラー E. タマンガン (フィリピン)

ジュゼッペ・ヴィアーレ (イタリア)

マイケル F. ウェブ (英国)

尹 商求 (韓国)

#### 事務総長

ジョン・ヒューコ (ウクライナ)



国際ロータリーのロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

#### ロータリー財団2014-15年度管理委員会

##### 委員長

ジョン・ケニー (スコットランド)

##### 委員長エレクト

レイ・クリングスミス (米国)

##### 副委員長

マイケル K. マクガバン (米国)

##### 管理委員

ノエル A. バジャット (米国)

カルヤン・バネルジー (インド)

スシル・グプタ (インド)

アントニオ・アラジェ (ブラジル)

謝 三連 (台湾)

ポール A. ネットェル (米国)

サミュエル F. オオリ (ウガンダ)

イアン H.S. ライズリー (オーストラリア)

フリオ・ソルフス (スペイン)

ブリン・スタイルズ (カナダ)

田中 作次 (日本)

尹 永錫 (韓国)

##### 事務総長

ジョン・ヒューコ (ウクライナ)



### 表紙の写真

メキシコと米国ペンシルバニア州のロータリー会員は、身体障害者を対象とした、車椅子修理の職業研修プログラム「ALEM」を支援しました。ALEMはモレロス州で唯一の車椅子修理場であり、周辺の町に移動して修理を行う取り組みも実施しています。ロータリアンの支援を受けているALEMは労働者が共同所有する形態をとっており、マーケティングと広報も独自に実施しています。



ROTARY INTERNATIONAL  
THE ROTARY FOUNDATION

[www.rotary.org/ja/give](http://www.rotary.org/ja/give)



本報告書は、無塩素漂白の100%再生紙に印刷されています。  
この紙は森林管理協議会（FSC）よりGreen Sealの認定を受けています。